
心の思い出マシーン ～親友編～

HERON

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

心の思い出マシーン ～親友編～

【Nコード】

N2618D

【作者名】

HERON

【あらすじ】

親友と喧嘩した。もう口も聞きたくなくなり思い出を捨てた。でも、それじゃ駄目なんだ。

あつ。思い出が落ちてきた。どんな思い出か開いてみよう。

そうかあ。親友と喧嘩したのかあ。仲がいい親友だったのに。でも、この喧嘩でもう喋らなくなったりしたら大変だなあ。よし！仲が良かった記憶を思い出させてあげよう。

心のコンピューターをカタカタと 深くに眠る親友との思い出を探し出し 君に思い出させてあげるよ

おつ。思い出してきたみたいだ。そしてその後に思うんだ。「僕が謝ればまた仲良くなれるのかなあ」ってね。

そうそう。そう思っておくんだ。きっと親友も同じ考えになるはずさ。今日のところはゆっくりと御休み。

そして朝をむかえると、ドキドキしながら学校へ。大丈夫。きっと親友もドキドキさ。さあ。親友との対面だ。勇気を出して「昨日はごめん！」の言葉を言ってみよう。きっと親友もわかってくれるさ。

ほらね。親友も照れながら「俺のほうこそ悪かったよ……ごめんな」って言葉。

これでまたまた仲直り。友情はさらに深まった。喧嘩をしたらよく考えよう。それで自分も悪いなあと思ったら次の日にでも面と向かって「ごめん！」の一言。これはすごく大事なことです。

喧嘩が終わったその日には。ほらもう一緒に下校中。喧嘩なんて

そんなもん。喧嘩の理由なんて、親友との思い出に比べたら小さな小さな話。無意識に罪意識を大きくしてるだけ。深く考えると負けなんだ。

それで、また親友と喧嘩して納得できないそのときは……

心のコンピューターをカタカタと 深くに眠る親友との思い出を探し出し 君に思い出させてあげるよ

それで納得できたなら。親友とまた仲直り。また笑顔で話せるよ。

僕は心の思い出マシン。心に眠る思い出を探し出してあげるよ。僕だって君の笑顔を見たいから。

（後書き）

喧嘩ってのも難しい。大喧嘩しても次の日には仲直りしてる時もあるし、しょうもない喧嘩したら、一生口を聞かないなんてこともある。

多分。どんな喧嘩しても「ごめん」って言える存在なのが親友なのかもと思いますね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2618d/>

心の思い出マシーン ～親友編～

2010年10月11日01時45分発行